



沼田川に繁殖している川鵜

ブラックバスやブルーギルの外来魚は、外来生物法により捕獲後放流することが禁止されており、釣り人にリリースしないよう周知徹底を図っていく。

## 畦畔保全管理について

陶 範昭 議員

問：畦畔の保全管理のため、年間5回から6回の草刈をする  
が、ほ場整備した農地の中には、畦畔の傾斜や高さがあるところもあり、危険な作業となっている。

草刈作業の省力化を図るためシバザクラやセンチピードグラスを植栽し、景観を良くする保全管理に取り組む地域や、市民グループに対して、協働のまちづくりの一環として、材料支給などを支援する水田畦畔整備を始めるべきではないか。

## 害鳥・害魚対策について

七川 松美 議員

問：沼田川は、県内でも有数な鮎の遡上する川で県内唯一の鮎の宝庫となっている。現在では害魚に指定されているブラックバスが繁殖し、鮎や古来から生息する雑魚が絶滅する状況にある。又、流域で見られなかった川鵜が寄り洲に自生した樹木に巣を架け、120羽以上に繁殖していると思われる。

川鵜の繁殖と鮎の被害対策は漁業経営にとって深刻であり、今後の対策と対応について問う。

答：川鵜は体長80cm程度の黒い鳥で、秋から冬にかけて繁殖する。鮎資源を守るための捕獲については「三原市有害鳥獣捕獲実施計画」で、年間30羽の捕獲ができることとしている。銃器が使用できない場所であるため、釣り針による捕獲や追い払いなど検討する。



シバザクラを植栽した畦畔

## メモ

### センチピードグラスとは？

東南アジアに広く野生する野芝の一種であり、日本名をムカデ芝という。丈が低く、滑りにくい、コストが安く、永年性であり、水田に侵入しないなどの特性がある。

答：農業従事者の減少や高齢化により、農業者だけの農地の保全が困難となりつつある現実もあり、農道や水路などの不特定の受益者の農業用施設の管理については、原材料等の支給を検討する。

センチピードグラスについては、効果等を調査し、情報提供を行う。「農地・水・環境保全向上対策事業」や「美しいふるさとづくり事業」が

計画されているので、その事業の適否についても検討する。

## 時広ランプ開通と安全対策について

中村 芳雄 議員

問：時広ランプが開通したが、地域の住民にとっては、住宅地の中を通過する大型車両や交通量の多さ、更には長蛇の渋滞に生活環境は一変している。道路を横断できないなど、地域の交通環境の悪化により、日常生活にも支障をきたしている。今後安心して暮らせるよう安全を最優先とした緊急的かつ長期的な安全対策についてどのように考えているか。

答：三原バイパス時広ランプ及び古城通糸崎線には供用開始に伴い、各種交通標識や路面表示など安全対策は講じている。

今後の安全対策としては、スピード制限の標識や停止線の設置、横断歩道の増設などの安全対策、国道2号交差点の青信号の時間延長、左折矢印信号の設置などの渋滞対策が考えられる。

これら対策について関係機関とも連携を図り、可能なものから実施していくとともに、引き続き三原バイパスの早期全通に向け、国土交通省に強く要望していく。



渋滞する三原バイパス時広ランプ

## 瀬戸内海のレジャー施設 について

白須 均 議員

問：小佐木島に高級リゾートホテルマンションと付帯して、石原都知事が提唱している、カジノ・ラスベガス構想と、併せて全国で実施している車券、船券、馬券等の販売施設をつくる考えはないか。

本郷町にあるサテライト車券売場の設立経緯と今後の見通しについて、どう考えているか。

答：小佐木島の活性化については、カジノ・ラスベガス構想より、自然を楽しむエコツーリズムの実践について、漁協等と連携し、魚釣り客の誘致

や海洋生物観察等を検討する。また観光面でもオンリーワンをめざすものがないか検討する。

サテライト山陽は、地域住民の雇用拡大、一般会計への財政支援などから平成11年4月に開設された。売上げは18年度にはオープン当初の6割に落ち込んでいる。

今後の運営については、競輪事業者や施設管理者と連携を図りながら協力をしていく。

## 帝人通りの渋滞解消 について

白須 均 議員

問：帝人通り南北軸の交通渋滞解消について、これまで提案してきたが、その後の取り組

みや進捗状況は怎么样了いるか。

今後、課題解決に向けての取り組みはどのようにするのか。

答：平成19年度から三原駅周辺地区について、歩行者や自転車が安心して通行できる「あんしん歩行エリアの整備」として、歩道の整備、車両速度を抑制する車道のモール化、歩行空間のバリアフリー化などの事業実施を予定している。帝人通りもこの事業の対象路線になっている。

「北向き一方通行に変更」については、地元商店街と協議を進めており、「あんしん歩行エリアの整備」と併せ、公安委員会、三原警察署とも連携し、交通渋滞の解消対策を進めたい。



帝人通りの慢性的な渋滞